



しが旅のススメ

この夏、多くの方々にご覧いただきたい映画です。

1945年、原爆投下直後の長崎で、命を救おうと奔走した若き看護学生たちの物語。日本赤十字社の看護師たちによる手記「閃光の影で」原爆被爆者救護赤十字看護婦の手記」を原案にしながら、当時看護学生だった少女たちの視点から原爆投下という悲劇を描いた感動作です。

手記に記された体験をもとに脚色を加えながら生み出された3人の少女たちを演じるのは、菊池日菜子さん、小野花梨さん、川床明日香さんといったフレッシュな新鋭たち。厳しい現実の中、彼女たちが懸命に自分たちの行動を模索し、思い悩むシーンは胸を打ってやみません。特に3人が思いのたけをぶつけ合うシーンは見る者の心に深い印象を残します。

この3人をしっかりと支

■ 映画「長崎—閃光の影で—」

ロケ地10ヵ所 マップで紹介

映画「長崎—閃光の影で—」

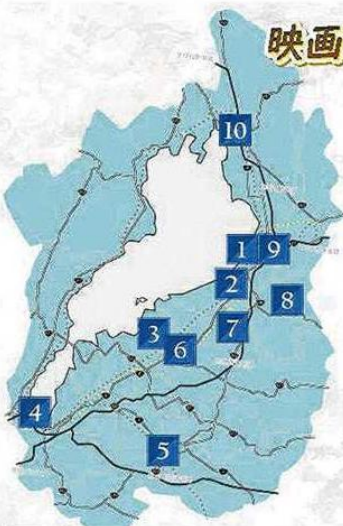
滋賀ロケ地マップ

映画「長崎—閃光の影で—」は、滋賀県内14箇所ですべて約1か月にわたって撮影が行われました。本作のロケ地の紹介を通じて滋賀県の魅力をご紹介します！



このページに登場する登場人物とキャスト
田中スミ（菊池日菜子） 大野アツ子（小野花梨） 岩永ミサ子（川床明日香）
岩永悠行（萩原聖人） 川西トキ子（水崎綾女）

映画「長崎—閃光の影で—」 滋賀ロケ地マップ



メインビジュアル
©2025「長崎—閃光の影で—」製作委員会



れたのは、戦争を知る世代の方々が「戦争はいけないう」という思いをつないでくたさったから。この続きを僕たちがやらないといけなと思っています」と語りました。

ちなみに、本作は滋賀県の多くの場所でロケが行われた映画でもあります。

冒頭の石段のシーンは彦根城の表門山道、救護所のシーンは旧余呉小学校。カトリック大津教会や実際の戦争遺跡である岩脇蒸気機関車避難壕でも撮影が行われています。

本作の撮影の支援を行った滋賀ロケーションオフィ

開しています。



か、同オフィスのホームページ＝QRコードでも公開しています。

県内では、ユナイテッド・シネマ大津、イオンシネマ近江八幡で公開中のこの映画、ぜひ劇場で観たいだけでなく、鑑賞後は滋賀ロケ地にもお立ち寄りください！
滋賀ロケーションオフィス
〒520-0077（528）3745
（滋賀ロケーションオフィス・有田高志）



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから

【「長崎—閃光の影で—」県内のロケ地】

- ①世継浜（米原市）
スミとミサが海辺で海水を汲んでいるシーン。
- ②彦根城（彦根市）
映画冒頭で、スミとアツ子とミサの3人がじゃんけんをしながら石段を登っていくシーン。

- ③旧ヴォーリス記念病院（五葉館・近江八幡市）
聖母の騎士団（修道院）のシーン。
- ④カトリック大津教会（大津市）
ミサや父の信仰がミサに参列するシーン。同教会の神父も神父役で出演。
- ⑤天理教甲賀大教会（甲賀市）

- ⑥旧中江勝治邸（東近江市）
原爆投下前の長崎の街のシーン。看護婦たちの宿舎となった料亭富貴楼に見立てて撮影。
- ⑦湖東町歴史民俗資料館（東近江市）
日赤長崎支部のシーン。
- ⑧安田組探石場（多賀町）
焼け野原になった長崎の街を再現。

- ⑨岩脇蒸気機関車避難壕（米原市）
スミたちがトンネル内で負傷者の手当をするシーン。
- ⑩旧余呉小学校（長浜市）
国民学校に設けられた救護所でスミたちが負傷者を手当するシーンなど。

※⑥～⑧は非公開。⑩はすでに解体。